



発行者
板野中学校
学習会
編集・文責：吉成正士

昨年のこの時期にも、ここで質問したと思いますが、3月3日は何の日でしょうか？
「耳の日」そうですね。「^{せつく}節句」「おひなさんの日」「女の子の日」それもそうですね。
それ以外に思い当たるものはないでしょうか……？そうそう、「^{すいへいしゃそうりつきねんび}水平社創立記念日」ですね。日本最初の人権宣言じんけんせんげんともいわれる、水平社宣言がうたわれた日です。その内容については、小学生の時に学習した人もいるでしょうし、中学生になって学習した人もいるでしょう。まだ学習していない人は、2年生で学習することになっているので、楽しみにしておいてください！

「水平社創立」のように、中学校各学年で学んでおくべき部落問題のことがらとして、次のようなことがあります。

- | |
|--|
| 1年生：学習会について |
| 2年生：水平社について、オールロマンス事件について |
| 3年生： ^{どうわたいさくしんぎかいとうしん} 同和对策審議会答申について、 ^{どうわしょうがくきんせいど} 同和奨学金制度について |

これらの学習を積み重ねながら、正しい部落問題を学習することは大切です。また、それに重ねて、さまざまな差別問題、社会問題を学習することは、もっと大切かもしれません。

今年学習したことを、今一度思い返し、しっかり頭の中にたたき込んでおきましょう！



◎「ものさし」だそうです

実はだいふ前に届いていた原稿げんこうがありました。たしか3年生のMさんだったと思います。「いつ載せよう、いつ載せよう……」と思いつつ、こんな時期になってしまいました。読んだとき、私自身「う～む、確かにその通りやなあ……けどものさしだけで、これだけのことが考えれるのか……スゴイ！」とってしまいました。私も同じことを考えているのかもしれませんが、それにしても「スゴイ！」と思います。ぜひみんなにも読んで

う一僕は未熟だ

僕が最初に振りかざしてるって時も、きっとあるんだ

人間ができていない

うっ、そっとする

能力不足に正座して落ち込む

あーもうそれだけは本当に気をつけよう

ある日

なんかのはずみが起こってしまうからには

うまくかわす技術も

ちょっとした抜け道^{ぬ みち}をみつける技術も

そして

まるくおさめる技術も、必要だ

叩かれてる人を見ない技術は、悲しすぎる

ここはみんなのもので

みんなここに生きている

僕がほしいのは

誰かを叩きのめす力じゃなく

叩かれ続けていられる力でもなく

僕がほしいのは

ここに共存^{きょうぞん}する力だ



私たちの生活の中に起こっていることが、この詩の中にギュッと入ってるって感じしませんか？

わかり合おうと思えばみんなわかり合えるはずなのに、自分のものさしを振りかざすあまり、周りの人を傷つけ、自分までも傷つけてしまう……。やはり共存することが目標なんだと思いますが、そのために必要な力とは……一体何でしょう？



◎1996年度の学習会（解放子ども会）活動を振り返って

今年度の学習会も、残りわずかとなってきました。今、学習会の3年生は、毎日のように入試対策^{にゅうしたいさく}の勉強をしています。大変ですが、自分の目的^はを果たすため、また自分の夢を実現させるため、そして部落差別を解消するため、最後までがんばり抜きましょう！高校・大学へ進学し卒業することも、差別解消の一つです。がんばりましょう！

でも残念なことです、まだまだ部落差別によって、学力や学習する力を奪^{うば}われている

という現実がたくさんあります。確かに学力の高い子もたくさんいるし、^{けいざいてきめく}経済的に恵まれている家庭もたくさんあります。でも、みんながみんなそうかという、まったくそうじゃありません。やはり学力の^{きび}厳しい子もたくさんいるし、経済的に厳しい家庭もたくさんあります。

よく、「勉強ができないのは、本人の努力が足りないんだ」とか「^{たしやう}多少の^{ふまん}不満があっても、^{がまん}我慢して仕事は続けなくちゃいけないんだ。みんなつらいことくらいある。部落の者だけがつらいんじゃない。みんなつらいけど我慢してるだけなんだ……」という人がいます。でも、^は果たしてそれだけで部落差別を片づけてよいのでしょうか？

もとをたどれば、部落の人々が差別を受けるいわれや、^{しいた}虐げられるいわれはないのです。もっともらしい^{りくつ}理屈を理由にして、差別を^う植えつけられてきただけなのです。よく部落のお父ちゃんやお母ちゃんが「生まれた所が悪いよ……」と、^{うつ}虚ろに^{しせん}視線を下ろし、^おうつ向き^{かげん}加減に^{かた}肩を落とす^{こうけい}光景に出くわします。「ほれはちやうでしょう！」と返します。どうして、生まれた所で差別を受けなくちゃいけないのでしょうか？生まれる前から、赤ちゃんは産まれる所を選べるのでしょうか？そんなわけありませんよね。「ああ私は生まれた所がここで良かった。あの人、お気の^{どく}毒に……」そういう問題ではありませんよね。つまり、同じ「学力が厳しい」にしても、同じ「経済的に厳しい」にしても、部落差別に関わっている限りは、部落外の人とは同じに考えるわけにはいきません。

かといって^{ごかい}誤解しないでほしいのは、部落外の「学力の厳しい子」「経済的に厳しい家庭」を^{ほう}放っておくというわけではありません。部落差別の現実から学んだことを活用、応用して、別の形でしんどい思いをしている子に、自信や誇りのつくような力をつけようということなんです。

今年度から学習会では、今まで通り教科の学習をするとともに、自分たちで考え、計画し、行動できるような行事をとり入れてきました。また、そんな活動を通して仲間づくりをしながら、部落解放運動にも取り組んでいる高校生たちと交流する機会をもつことができました。よく「解放の^{にな}担い手になる」という言葉を使いますが、本当の意味で差別をなくす人間になるのであれば、なりたいのであれば、やはり運動に取り組まなければなりません。何もしないで、「もらえるものはもらえ！」じゃなく、また何もしない代わりに、「自分一人で生きていく！」というのでもなく、きちんと自分にできる運動に取り組みながら、多くの人と連帯して差別をなくすことをしなければならぬんだと思います。

と^{りくつ}理屈はこねても、実際学習会に参加する人が減ったことは事実です。楽しくないのか

もしれません。なんとか、「来て楽しい、ためになる学習会を」と考えています。塾や部活動のある人もいると思いますが、自分のことであり、自分のためです。忙しいでしょうが、なんとか時間の調整をしながら、ぜひとも参加しにきてほしいものです。そして、自分の中に隠れたいろんな能力を、もつともつ高め、たくさんの方に挑戦し、その中で自分に合った最善の「何か」を見つけだし、それを通して他の身につけていない多くの能力を高めましょう！それが、人間として今、一番大切な「生きる力」につながっていくのだと思います。

最後に……部落のどこが悪い！何が恥ずかしい！差別をなくす使命をしっかりと感じ、学習会活動などを通じて、正々堂々と自分を高めよう！！



◇ これからの日程 ◇◇◇

次回で、今年度のMY SKYも最終号です。載せて紹介しておきたい資料も、まだまだたくさんあるのですが、うまく載せることができませんでした。最後をどうまとめるか思案のしどころですが、できる限り、良いものにしたいと思っています。最後の一号、楽しみにしておいてください！



- 2月26日(水) 全学年学習会解放子ども会(18:00~19:30:総合センター)
- 3月3日(月) 水平社創立記念日(1922年3月3日:京都岡崎公会堂)
- 10日(月)~12日(水) 学年末テスト
- 11日(火)・12日(水) 公立高校入学試験
- 13日(木) 『MY SKY 第32号』発行日(1996年度最終号)
- 15日(土) 卒業式、卒業イベントinさくらホール(さくらホール)
- 16日(日) 学習会閉講式・お別れ遠足(7:30~18:30:大阪天保山海遊館)
- 24日(月) 1996年度修了式



- ※ 「MY SKY」に関する感想や意見を広く求めています。取り上げてほしいことや日頃疑問に思っていることなど、何でも結構です。ぜひとも吉成までお問い合わせください！
- ※ 本誌に掲載している参考文献等についてのお問い合わせは吉成までお願いします。みなさんもしっかりと原本を読んでみてください。